

株式会社コーノ セルフレジの導入で大幅な省力化を実現

都道府県 東京都

従業員数 20人

事業 食料品小売業

事業概要

- ・店舗面積約165㎡の小型食料品スーパーマーケット。生鮮食品（青果・鮮魚・精肉）のほか店内調理の惣菜を販売。
- ・店舗内における生産性の向上を目指し、積極的な設備投資を進めている。



抱えていた課題



- 買い上げ商品の袋詰めまでをレジ台で従業員が実施しているため、常に従業員を2人程度配置しなければならず、従業員にも大きな負担になっていた。
- レジ待ち列が発生し、お客を待たせることが多かった。

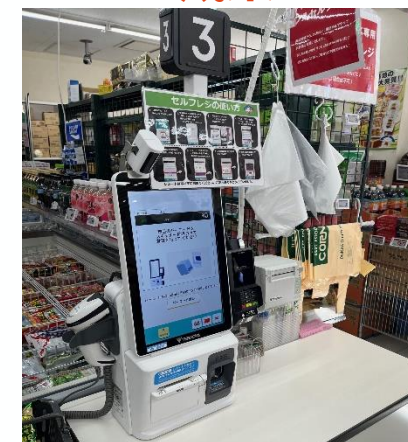
導入後の変化、効率化された業務

- レジ従業員が常時2人程度から、常時1人に削減を行い、陳列等の業務に人員を割くことが可能となった。
- セルフレジの導入にあわせ、袋詰めもお客自身が行うようにオペレーションを変更しレジの回転率を向上させた。
- 商品読み込みを従業員が行い精算は別途精算機で行うことで、お客の精算を円滑に進めることが可能となった。

導入した「セルフレジ」の特徴

- お客自身が商品をスキャンし、精算まで行う「フルセルフ方式」のレジを1台と従業員が商品をスキャンするが、お客が精算を行う「セミセルフ方式」のレジを2台導入。
- セミセルフ方式のレジ機は、フルセルフ方式への切り替えも可能。

成果



- レジ対応について、1か月あたり100～120時間の労働時間が削減できた。
- レジの回転率が向上し、お客のレジ待ち列が緩和された。
- レジ対応労働が削減された代わりに他の接客業務に充てることができ、お客の満足度の向上を図ることができた。